

案件に関連する指摘・対応状況

国名：案件名
ソロモン：防災ラジオ放送網改善計画
(1) 問題・指摘の概要
会計検査院による令和元年度決算検査報告「検査及び現地調査の結果」における事後処置が必要な主な指摘事項は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none">一部の関係機関において、防災連絡システムの一部の機材が再設置されておらず、また一部の機材が所在不明となっている。
(2) 原因
先方関係機関からは、主な原因については不明との報告を受けており、関係機関の移転および改修によるものと推察される。
(3) これまでの対応及び現状等
<ul style="list-style-type: none">施設移転等により再設置されていなかった機材については、2020年9月末までに再設置・再接続され、同年10月上旬にはテスト交信を実施済み。この結果、防災連絡システムを利用して関係機関間の通信が可能となったことを確認済み。所在不明となっていた一部機材については、事業実施機関から、紛失によるものと確認したこと及び予算を確保し代替機材を調達済みであり、「VHF無線用電源装置（バッテリー）」を除き設置済み。同バッテリーは新オフィス完成後に設置予定。
(4) 今後の対応・教訓等
<ul style="list-style-type: none">今後、無償資金協力により、防災連絡システムを整備する場合、緊急時に支障なく活用することができるよう、事業実施機関及び関係機関に対して、機材を常に利用可能な状態にしておくことの重要性や機材の適切な管理のための体制整備について必要な助言を十分に行う。バッテリーが新オフィス完成後に設置された際、配置を確認する。